

## 7/12.松江城(島根) 国宝 松江市殿町 1-5

慶長5(1600)年～寛永10(1633)年に堀尾吉晴は秀吉、家康に仕え、孫の忠晴を助け松江城と城下町を建設。その後、京極氏が跡を継ぎ、その後は家康の孫である松平直政が統治した。外観は4重、内部構造は5階、地下1階の構造で、入り口に付櫓を設けた複合式望楼型に分類される。外壁の多くは黒色の下見板張りで随所に防衛装置を配している。また、石垣も立派で防御が優れている。(同パンフ)



天守



石垣



石垣



天守内部